

# 支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

2月号 2017. 2. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会  
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方  
TEL/FAX 043-497-5083  
<http://www.marrows.jp/chiba/>

## 新年を迎えて

2017年も早や1か月が過ぎましたが、1月号の会報発行がありませんでしたので、新年を迎えてのご挨拶を申し上げます。2016年12月18日に日本骨髓バンクは、設立25周年を迎えました。1991年に千葉骨髓バンク推進連絡会が同バンクの設立のために千葉県内の多くの場所でシンポジウムを頻繁に開催したり、署名活動やチラシ配りをしたことが懐かしく思い出されます。お陰で91年12月18日に骨髓移植推進財団(当時の名称)が設立されました。以降弊会は骨髓バンクの普及啓発活動や献血併行登録会で骨髓バンクを支援してきましたが、今後も同様に支援活動を継続して参ります。

弊会の昨年の特筆する活動としては11月19日に3回目となる「コンサートと落語会」を成田山新勝寺で開催しました。180名の参加者を得て成功裏に終わることができました。今年は11月11日に成田駅前の「成田市文化芸術センター」に会場を変えて開催しますので是非ともご来場下さい。また、津田沼献血ルームの長谷川前所長のご支援で始まったドリームキャップの製作活動は、千葉赤十字奉仕団の方の参加や、日東タオル様からのタオル提供もあり、後述の記事にあるように順調に進んでおり、今年も継続します。ドナー助成制度の制定に向けての県、各市への要望も継続して実施して参ります。本年も真摯に骨髓バンク支援活動、ドナー登録会を実施してまいりますので、皆様方のご支援を宜しくお願い致します。(会長 梅田正造)

## 「ドリームキャッププロジェクト」絶賛活動中です

当会と日本赤十字社千葉県支部との共同活動として、県内の病院を中心に、タオル帽子の製作・プレゼントを行う「ドリームキャッププロジェクト」がスタート。12月6日の毎日新聞でも大きな紙面で取り上げていただきました。

12月21日には一緒に活動する高校生と共に、千葉県こども病院に届けに行きました。残念ながら病棟・外来とも直接子ども達に手渡すことは叶いませんでしたので、先生と師長さんにお預けしました。ケア帽子には高校生達のメッセージが一つ一つに貼られ、寄せ書きも一緒にプレゼントしました。

この日は、先に送付していた千葉大学医学部附属病院小児科の師長さんからも、お礼のお電話を頂きました。クリスマス会で配付が予定され、前年の様子を知っている子ども達の中で既に話題になり、楽しみにしてくれているとのこと。12月末には写真を送っていただきました。サイズが小さすぎる、大きすぎるなどの様子が判り、これからの参考になりました。

当会としては2008年からタオル帽子製作を開始、4年前から県内の病院へのプレゼントを行い、去年は8病院へ160個を贈ることができました。皆様のご協力の賜物です。ありがとうございました。(西島一)



## イエローシートキャンペーン in イオンモール柏

12月11日(日)14時から2時間、店舗2階のセンターコートにて投票ボックスを持って、他団体の方々と共に呼びかけ活動をしました。

これまで1階食品レジ近くでの活動のみでしたが、今回は場所を変えての初の試み。結果としては、やはり1階の方がレシート回収率が高かったとのこと、店舗担当者も恐縮されていました。それでも2階の活動団体の中では群を抜いた枚数でしたので、成果はあったと思います。

途中、闘病中の姪御さんがいらっしゃる方とお話をする機会がありました。骨髓移植後再発され、現在さい帯血移植に向けて治療中とのこと。移植後17年・元気に活動する私の姿に、「未来を前向きに考えられる出会いがあって良かった」との言葉を頂戴しました。患者さんやご家族への情報提供や精神的サポートなど様々な活動があり、改めてやりがいを感じた1日となりました。(河口)



## 箱根駅伝 啓発活動

1月2日(月)箱根宮ノ下富士屋ホテル前にて沿道啓発活動を行いながら選手の応援をしました。事前に北村さんから選手が近づくと花火が上がることや応援の練習があることを教えて頂きワクワクしながらギフトの配布や募金のお願いを始めました。

ホテル前にある大きな順位表の順位は次々に入れ替わりいよいよ選手が近づいて来ました。死力を尽くして走り登ってくる選手に向かって「ガンバレー」という大声援を送りそしてアツという間に選手が通り過ぎるとまた啓発活動。合間に応援の練習もあり、それらが繰り返されて忙しくしているうちに最後のランナーが走り抜けました。その後、応援している人達が帰り始めると今度は募金活動が活発になりました。わざわざ通りを渡って募金に来てくださる方、大きなバッグの中のお財布を探して寄付くださる方と、募金だけでなく喜びも頂きました。

これからも1回1回の活動を大切に視野を広げて行きたいと思っております。(久永)



写真提供：NPO法人  
全国骨髓バンク推進連絡協議会

# 登録会報告

## 千葉工業大学新習志野キャンパス 12月5日(月)～7日(水)

説明員：5日 円東・溝口、6日 西島隆・一、7日 柴谷・北村美

3日間の登録会は晴天の日でもビル風が強く、強風となった2日目の途中からは会場を室内に移しての開催となりました。花見川ライオンズクラブさんのお土産提供、明るい呼びかけもあり、午前中こそちらほらの献血者も連日午後からは問診に列をなす状態に。その間を利用して、グラビアを持参して説明をしたり、声がけしながらギフト配付もしましたが、登録にまではなかなか結びつかず……。そもそも多くの学生さんが「骨髄バンク」「骨髄移植」を知りません。

このキャンパスが19・20才が中心だったことも関係していたかもしれませんが、「初心にかえて若年層への啓発活動を強化しなければ！」と強く実感した3日間となりました。(円東・西島隆・柴谷)



5日 登録 2人・説明 2人  
6日 登録 4人・説明 4人  
7日 登録 0人・説明 5人

## 浦安市民プラザ Wave101 12月18日(日) 説明員：西島隆・一

初めての会場でしたが、浦安シーサイドライオンズクラブのご挨拶に始まり、とてもよい雰囲気の中での活動となりました。

けんけつちゃんも登場、終了ぎりぎりまで会場外で呼びかけが行われるなど、ライオンズさんの活動が際立って積極的でした。以前は献血バスによる献血会で100人越えの登録者もあったようですが、現在、4Fの会場まで献血者を呼び込むのが毎回大変なこと、また昨今の献血離れもあり、危機感を抱いたライオンズさんによって朝日新聞へのチラシ投函や、骨髄バンクとの併行登録会を企画されたとのことでした。

途中、お子さんを亡くされたばかりのご夫婦が登録くださいました。展示されたタオル帽子をご覧になり、お子さんも病院で被っておられたとのこと。お話からすると私が提供した帽子のようでした。「プレイルームで皆被って遊んでいますよ」とのお話に、「また頑張って作ろう」と思いました。(西島一)



登録 11人・説明 1人

## 幕張メッセ 東京オートサロン 2017年1月14日(土)～15日(日)

説明員：14日西島隆・一・円東・梅田・河口、15日：円東、柴谷、山本栄・久永、北村勉・美

今季一番の寒さに加え、2日目は1日中強風が吹く寒い登録会となりました。会場にはガラス扉があるものの献血者が入場する度に寒風が吹き込みました。

来場は大行列、献血者も連日295名と200名で多かったようですが、その割にはドナー登録者は少ない状態。来場者層が同じため、登録希望者は既に登録されていると考えられること、また通常の献血並行登録会に比して、この会場での献血者は抽選で次のオートサロン入場券が入手できるため、それを目的としていて、ボランティア意識はあまり高くないのではと感じました。

次年度も同じ会場での登録会を開催するようであれば、策が必要になりそうです。(梅田・円東)



14日 登録 9人・説明 10人  
15日 登録 5人・説明 5人

## フルルガーデン八千代 1月28日(土) 説明員：北村美、山本栄

前日の強風も収まり、この日は過ごしやすい1日でした。

登録会場の向かい側では八千代商工会青年部の方たちが「八千代市新川に川床を作ろう」とのPRに無料とん汁400食の配布がなされ、私たちもお昼に頂きました。

この日は10代から50代まで全て男性の登録者となりました。

3時半近くに献血にいらしたお母さんと息子さんに声をかけたところ、お母さまは登録済みの方でした。息子さんに「18歳になってますか？お母さまが登録されてる骨髄バンクのお話聞いてみませんか？」と声をかけると、お母さまからも「どうぞどうぞ」と歓迎の言葉。この日、息子さんも登録してくださいました。3月に高校を卒業される18歳の男子でした。親子でドナー登録者となって頂き、嬉しく思います。(北村美)



登録 4人・説明 2人

その他の登録会報告	12月	登録者	説明受講	説明員
千葉大学	1日(木)	6人	1人	尾木、山口
山武市成東保健福祉センター	2日(金)	3人	1人	北村美、久永
イオンモール幕張新都心	11日(日)	8人	2人	尾木、熊倉正・照
日本大学生産工学部	13日(火)	0人	1人	円東、山本栄
日本大学生産工学部	14日(水)	2人	2人	北村美
日本大学生産工学部	15日(木)	0人	3人	山本栄、河口
四街道市役所	16日(金)	1人	2人	円東
一宮町保健センター	19日(月)	4人	2人	北村美、尾木
イオンモール木更津	24日(土)	12人	9人	西島隆・一
イオンモール木更津	25日(日)	3人	4人	円東、河口
千葉県庁	27日(火)	5人	2人	久永、円東
千葉県庁	28日(水)	8人	1人	北村美、山本栄
白井市役所	28日(水)	2人	1人	柴谷

その他の登録会報告	1月	登録者	説明受講	説明員
千葉県庁	4日(水)	2人	5人	尾木
千葉県庁	5日(木)	5人	3人	円東、久永
イオンモール成田	7日(土)	4人	4人	石橋、円東
順大さくらキャンパス	10日(火)	4人	3人	北村美、山本栄
市原市役所	10日(火)	2人	3人	西島隆・一
柏市役所	12日(木)	0人	3人	河口
浦安市役所	13日(金)	0人	3人	西島隆・一
住友化学(株)袖ヶ浦地区	16日(月)	2人	2人	西島隆・一
城西国際大学 千葉東金キャンパス	16日(月)	14人	6人	北村美、河口
城西国際大学 千葉東金キャンパス	17日(火)	9人	3人	円東、久永
木更津市役所	17日(火)	6人	3人	西島隆・一
佐倉市役所	18日(水)	4人	1人	北村美、河口
国際武道大学	23日(月)	2人	3人	円東、北村美
四街道市役所	27日(金)	4人	0人	尾木
印西市役所	30日(火)	0人	0人	柴谷、山本栄
三井化学(株)市原工場	31日(水)	0人	-	なし

**当日のアンケートより** ご来場の皆様から頂戴したご意見の一部をご紹介します。今後の参考にさせていただきます。どうもありがとうございました！

落語、演奏、どれも素敵でした。骨髓バンクのトークも実体験が聞けて良かったです。／久しぶりの生演奏の響きが体に伝わり、良かった。落語は笑いが元気になる実感した。／演奏前の解説が音楽の授業のようで良かった。／内容は良く楽しめたが、寒かった。／演奏者の方が楽しそうに弾いていたこと、時代背景の説明も状況を想像できて良かったです。／コンサートの説明が専門的すぎる。／アンコール曲が素晴らしかった。ごぼう、珍しい食材のお料理、初めて頂きました。素晴らしい企画で楽しませて頂きました。／コンサートと落語は不思議にマッチしていて、全く違和感がない。今後も続けてください。／会場が広いので落語が聞きづらかった。／曲の初めのお話がわかりやすくよかったです。古い年代の曲が多いが、もう少し新しい曲も聞いてみたい。会場が寒かった。／ドナーさんのお話に人間として大切なものを教えて頂きました。

**ミニトーク出演者ご紹介** 演目台間のミニトークにはご夫婦で「患者さん&ドナーさん」という珍しいカップルにご登場頂きました。

私（奥様）は、長い間の念願が叶い2001年に骨髓提供者になりました。ドナー登録の理由は、幼い時、大病を患い多くの方々に命を救われたことを祖母から聞かされていたからです。それから少しでも世の為に役立ちたいという思いが「検体・臓器提供・骨髓バンク」の登録となり、10年以上待っていました。幸いにも勤務していた役所で特別休暇を頂くことが出来、手術後ベッドの上でやっと長い間の恩返しが出来た思いがしました。そして私の骨髓達よ頑張れと祈りました。

夫は、画家として活躍中の10年前に「急性骨髄性白血病」を発症しましたが、M3タイプで最新の薬剤にて7ヶ月間の入院治療で寛解となり、生き方も変わり現在は自分の為に大好きな絵を描き続けることにより新たな出会いと展開が生まれています。

私達は共通の知り合いを介して6年前に再婚しました。私も絵を描きますのでアトリエでは夫の生徒として指導を受けています。お互いに日々命の尊さ、何気ない暮らしの中で幸せを感じています。



田中基之さん



私たちは、骨髓提供者と急性骨髄性白血病を克服した夫婦なのです。（当日のパンフレットより）

「骨髓提供者と白血病克服者」の夫婦で参加と言う貴重な体験をさせて頂きました。骨髓提供と言う、私にとって掛け替えのない経験を初めて大勢の方々に前にして話す機会を持つ事ができ、今まで心の奥深くに封印されていた思いに、ひとつの区切りが出来た様に思います。又、素晴らしい「ヴァイオリンとチェロ」のコンサートに酔いしれ、主人共々素敵な一日を過ごさせて頂きました。会長はじめスタッフの皆様の細やかな心遣い、フットワークの良さにびっくりです。皆様の益々のご活躍を心よりお祈り致しています。（田中愛子さん）

**同種造血幹細胞移植の成績向上**

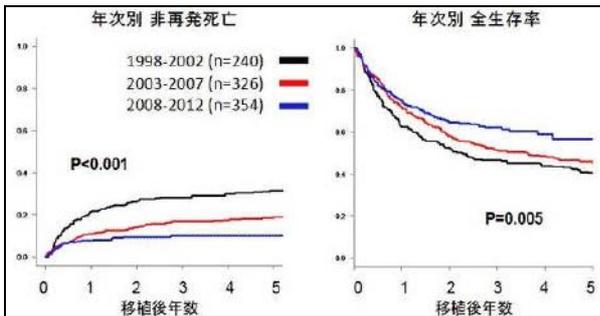
血液疾患の患者さんにとって、完治が望める移植治療に対する期待は極めて大きい。しかし一方では、GVHD、感染症などの移植関連合併症による死亡率もある程度高く、期待と不安を抱えるのが現状であると思われる。

そこで、最近の移植成績はどれほど向上しているのか、少し調べてみました。まず図1は国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科のHPから抜粋のデータです。

一施設の成績ではありますが、最近の移植成績の向上が示されております。

また、図2は日本造血細胞移植データセンターが出版している、「2015年度 日本における造血幹細胞移植の実績、11頁」の抜粋です。これにおいても、合併症の目安となる移植後100日及び365日後の生存率が、年次を追うごとに右肩上がりとなり、向上が示されております。

以上簡単な紹介ですが、これまでの成績向上を喜ぶと共に、今後さらなる向上が実現され、苦しい治療に立ち向かっている患者さんにとって、より安全、安心な治療法になっていくことを願ってやみません。（溝口）



← 図1(左)：国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科HPより抜粋。

初回同種移植後の合併症による死亡リスクは2008年以降、1割以下まで低下しております（図1左側）。それを反映して、治療後の生存率はこの15年で改善を認めております（図1右側）。

ただし患者さんの年齢・全身状態、原疾患やそのコントロール状態、移植の種類によって治療成績は大きく異なります。

図2(右)：日本造血細胞移植データセンター「2015年度 日本における造血幹細胞移植の実績 11頁」より転載



50歳未満での血癌発症、非血癌発症の同種移植後100日での生存率は、ともにここ10年で向上している傾向がみられる。

50歳未満での血癌発症、非血癌発症の同種移植後365日での生存率は、ともにここ10年で向上している傾向がみられる。

## 日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2016年12月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	468,728	+1,628	+11,748	13,782	+86	+375
累計患者登録者数	49,871	+492	+3,034	1,943	+15	+63
累計移植例数	20,237	+184	+1,228	631	+7	+41

### 四国漫遊記 その6 (最終回)

この旅で特記すべきことはことは沢山ありますが、その内の3点は是非記しておきます。

第1にこの遍路旅は健康的であること！就寝は8時から9時で起床は5時から6時、6時半から7時に朝食。毎日平均30kmの徒歩のみで遊びはなし。楽しみは到着後のお風呂と食事。疲れをとってくれると共に仲間との交流は明日への元気の源となりました。結果、出発前に危惧していた腰痛もいつの間にか気にならず、減量も4kg達成できました。

第2に四国の風光明媚なところを余すところなく見ることができました。山頂からの山並み、街並み、太平洋の雄大さに瀬戸内海の流麗さ。お寺や神社それに古い街並み等々。しかし、残念なことに古い街並み、宿は殆んど寂れて人影もまばら。「祈！世界遺産登録」という感じです。これらに反して、しまなみ海道のブリッジや本四連絡橋は視点が変わって目新しかったですね。

話はそれますが、新しいといえばコンビニエンスストアは大変重宝しました。飲み物・食べ物の補給に、銀行代わりの換金とお世話になりました。最も助かったのはトイレ、特に便座トイレはもはや現代人の必需品？です。

第3は遍路仲間との交流とお遍路を支援してくれる多くの方の温かい心使いがあげられます。真中央のアメリカ人とは20日間、右の茨城県人とは40日間、一緒に雪の中・嵐の中も共に歩きました。完徒後も連絡は取りあっていて翌年の5月には再度四国で落合い巡礼登山を行い旧交を温めました。また、宿のお年を召したおかみさんには親切且つ安くお宿を供してもらい感謝に堪えません。機会があれば再度挑戦したい。

今度は逆打ちで！！ 南無大師遍照金剛！（円東）



同行4人と 44番後の旅館で  
(一人は映らず)

### 患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

### 会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費；3,000円（学生1,000円）

振替口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参して頂いても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

### ボランティア・会員募集

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髄バンク＝登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

### 今後(2~3月)の予定(お知らせ)

普及啓発活動

- ・2月11日 イエローシート
- ・3月25日 パネル展(流通経済大学新松戸キャンパス)

ドナー登録会

- ・2月17日 袖ヶ浦市 保健センター
- ・2月19日 京成津田沼駅 南口ロータリー
- ・2月22日 モノレールちば駅 献血ルーム
- ・2月25・26日 イオンモール 成田

その他

- ・4月15日 骨髄バンクドナー登録推進イベント in 千葉マリスタジアム

定例会予定

日時 3月5日(日) 14時00分

場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

### <編集後記>

毎年ボランティア初めとなる箱根駅伝での啓発活動。病室で病と闘う患者さんにエールを贈ろう！と始まったこの活動に当会からも宮ノ下と田町の活動場所に8名が参加しました。私はと言えば、連日テレビの前で観戦。生放送だけでなく、BSで放映されたダイジェスト版でもおさらい。各校の選手の力走を見るのはもちろん、「骨髄バンク」の赤い幟のチェックも観戦の目的。今年はずいぶん増して多くの場所で幟が写っていたし、例年、ボランティアが立しようしている場所でも、効率的な配置がなされていたように感じました。寒い中、地域によっては早朝からの立しよう。活動される皆さんには頭が下がります。でもテレビ前の観戦も大変なんですよ。見逃さないようトイレにもなかなか行けず、座りっぱなしでお尻も痛くなり。選手とボランティアさんの頑張りに勇気もらって1年が始まりました。今年もよろしくです。(クロ)